



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 中央自動車工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8117 URL <https://www.central-auto.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）坂田 信一郎
 問合せ先責任者（役職名）常務取締役総務本部長（氏名）住吉 哲也 TEL 06-6443-5192
 半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	19,439	1.0	5,172	3.6	5,926	6.1	4,171	7.9
2024年3月期中間期	19,252	19.2	4,992	47.1	5,587	50.3	3,865	50.8

（注）包括利益 2025年3月期中間期 3,812百万円（△22.2%） 2024年3月期中間期 4,900百万円（92.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	226.66	—
2024年3月期中間期	210.26	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	59,281	52,384	88.4	2,845.38
2024年3月期	57,387	49,917	87.0	2,713.11

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 52,384百万円 2024年3月期 49,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	54.00	—	76.00	130.00
2025年3月期	—	68.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	70.00	138.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	4.2	10,800	6.2	11,800	4.8	8,100	2.2	439.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	20,020,000株	2024年3月期	20,020,000株
2025年3月期中間期	1,609,685株	2024年3月期	1,621,432株
2025年3月期中間期	18,401,902株	2024年3月期中間期	18,386,517株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善がみられるなか、インバウンド需要や輸出関連企業を中心とした好業績に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国経済の減速、長期化するロシア・ウクライナ情勢等による原材料価格の高騰や急激な円安の進行による物価高の影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

4～9月の国内新車総販売台数(軽を含む)は、自動車メーカーによる認証不正問題による生産停止の影響もあり、前年同期比2.6%減の約217万台となりました。内訳は、登録車で同2.0%減の約140万台、軽自動車においては同3.6%減の約77万台となりました。

このような環境下、当社グループは、2030年に向けたパーパス「未来のモビリティ社会における最良のパートナー」を具現化するべく、訪問活動の更なる強化と異業種を含む新規開拓の加速を重要課題とし、付加価値の高いオリジナル商材の拡販に尽力しました。また、新規ビジネス創出やブランド構築の取り組みを積極的に推進しました。

これにより、当社グループの売上高は194億39百万円(前年同期比101%)、営業利益は51億72百万円(同104%)、経常利益は59億26百万円(同106%)、親会社株主に帰属する中間純利益は41億71百万円(同108%)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(自動車部品・用品等販売事業)

当セグメントにおきましては、国内部門では、新車販売台数が2年ぶりに減少に転じるなか、地域密着型営業と訪問活動・サービス体制の強化を通じて、新規開拓および高付加価値商材の販売拡大に努めました。また、アルコール検知器については、クラウド管理化の推進と買替え需要への対応によりシェア拡大に取り組みました。

海外部門では、高まる地政学リスクに注意しながら、新規開拓と付加価値の高いオリジナル商材の拡販に注力しました。また、現地での顧客フォロー体制の更なる強化に向け、当社現地法人CAPCOベトナムの新事務所としてダナン支店を新設いたしました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、前年の主力商品の高品質化による特需からの生産量減少があったものの、生産体制の効率化や経費削減に努めながら、目標品質の維持と商材の安定供給を行いました。

連結子会社の株式会社フラッグスは、社内の管理・業務体制の整備と、今後の事業発展に向けた商品開発と安定供給の体制構築に努めました。

これにより、売上高は152億83百万円(前年同期比99%)、セグメント利益につきましては47億75百万円(同103%)となりました。なお、上記実績のうち、アルコール検知器に関しては、売上高6億28百万円(同75%)となりました。

(自動車処分事業)

当セグメントにおきましては、連結子会社の株式会社ABTは、受注台数・処理台数ともに前年を僅かに下回りましたが、継続する中古車市場の活況のなか、迅速かつ正確な業務遂行に努めました。

これにより、売上高は41億56百万円(前年同期比108%)、セグメント利益につきましては3億97百万円(同109%)となりました。

セグメントの業績(連結売上高)

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期比(%)
自動車部品・用品等販売事業	15,410	15,283	△0.8
内、国内販売	10,852	11,348	4.6
内、海外販売	4,557	3,934	△13.7
自動車処分事業	3,842	4,156	8.2
合 計	19,252	19,439	1.0

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の財政状態を分析しますと、

- ① 総資産合計は592億81百万円と前連結会計年度末に比べて18億93百万円増加しております。
増加の主なものは、現金及び預金が12億97百万円、有形固定資産のその他のうち東京支社の新社屋建築に伴う建設仮勘定が9億7百万円、投資有価証券が4億78百万円であります。
減少の主なものは、受取手形及び売掛金が1億88百万円、商品及び製品が2億47百万円、のれんが2億21百万円であります。
- ② 負債合計は68億97百万円と前連結会計年度末に比べて5億73百万円減少しております。
増加の主なものは、支払手形及び買掛金が93百万円であります。
減少の主なものは、未払法人税等が3億57百万円及び流動負債のその他が2億95百万円であります。
- ③ 純資産合計は523億84百万円と前連結会計年度末に比べて24億66百万円増加しております。
増加の主なものは、親会社株主に帰属する中間純利益が41億71百万円であります。
減少の主なものは、その他有価証券評価差額金が3億29百万円、配当金の支払いにより利益剰余金が14億5百万円であります。
なお、自己資本比率は、87.0%から88.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想(2024年5月14日公表)につきましては、当中間連結会計期間の業績が概ね計画通りに推移しておりますので、現時点における業績予想値の変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,343	21,640
受取手形及び売掛金	4,188	4,000
商品及び製品	2,376	2,128
仕掛品	8	10
原材料及び貯蔵品	19	18
その他	486	1,124
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	27,417	28,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,128	1,114
土地	5,385	5,385
その他(純額)	1,157	2,089
有形固定資産合計	7,672	8,589
無形固定資産		
のれん	3,691	3,470
その他	92	113
無形固定資産合計	3,783	3,583
投資その他の資産		
投資有価証券	16,718	17,196
長期貸付金	659	—
繰延税金資産	302	178
その他	833	815
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	18,514	18,189
固定資産合計	29,969	30,362
資産合計	57,387	59,281
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,201	2,294
未払法人税等	2,117	1,759
賞与引当金	487	479
その他	1,337	1,041
流動負債合計	6,143	5,575
固定負債		
退職給付に係る負債	1,105	1,147
その他	221	174
固定負債合計	1,326	1,321
負債合計	7,470	6,897

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001	1,001
資本剰余金	4,929	4,985
利益剰余金	41,751	44,516
自己株式	△585	△582
株主資本合計	47,096	49,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,726	2,396
繰延ヘッジ損益	△0	5
為替換算調整勘定	9	22
退職給付に係る調整累計額	85	38
その他の包括利益累計額合計	2,820	2,462
純資産合計	49,917	52,384
負債純資産合計	57,387	59,281

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	19,252	19,439
売上原価	11,050	10,849
売上総利益	8,202	8,590
販売費及び一般管理費	3,209	3,417
営業利益	4,992	5,172
営業外収益		
受取配当金	78	134
受取賃貸料	23	25
持分法による投資利益	425	596
その他	84	37
営業外収益合計	612	793
営業外費用		
支払手数料	4	3
賃貸収入原価	10	8
為替差損	—	23
その他	3	3
営業外費用合計	17	40
経常利益	5,587	5,926
税金等調整前中間純利益	5,587	5,926
法人税、住民税及び事業税	1,611	1,649
法人税等調整額	110	105
法人税等合計	1,721	1,755
中間純利益	3,865	4,171
親会社株主に帰属する中間純利益	3,865	4,171

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	3,865	4,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	879	△90
繰延ヘッジ損益	△1	6
為替換算調整勘定	△14	12
退職給付に係る調整額	13	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	157	△238
その他の包括利益合計	1,034	△358
中間包括利益	4,900	3,812
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,900	3,812

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,587	5,926
減価償却費	85	94
のれん償却額	190	221
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△26	41
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
持分法による投資損益(△は益)	△425	△596
受取利息及び受取配当金	△84	△142
売上債権の増減額(△は増加)	192	187
棚卸資産の増減額(△は増加)	△319	246
前渡金の増減額(△は増加)	106	44
仕入債務の増減額(△は減少)	78	106
未払金の増減額(△は減少)	△26	△96
未払費用の増減額(△は減少)	△207	△197
その他	△218	△94
小計	4,935	5,733
利息及び配当金の受取額	128	195
法人税等の支払額	△1,860	△1,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,203	3,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△160	△980
有形固定資産の売却による収入	17	2
無形固定資産の取得による支出	△22	△38
投資有価証券の取得による支出	△500	△278
投資不動産の賃貸による収入	23	25
その他	△4	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△147	△1,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△979	△1,403
その他	△2	37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△981	△1,366
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,092	1,297
現金及び現金同等物の期首残高	15,450	17,343
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,543	18,640

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
国内	10,852	3,842	14,695	—	14,695
海外	4,557	—	4,557	—	4,557
顧客との契約から生じる収益	15,410	3,842	19,252	—	19,252
外部顧客への売上高	15,410	3,842	19,252	—	19,252
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,410	3,842	19,252	—	19,252
セグメント利益	4,627	364	4,992	0	4,992

- (注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。
 3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国内と海外に分類しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	合計
	自動車部品・用品等販売事業	自動車処分事業	計		
売上高					
国内	11,348	4,156	15,505	—	15,505
海外	3,934	—	3,934	—	3,934
顧客との契約から生じる収益	15,283	4,156	19,439	—	19,439
外部顧客への売上高	15,283	4,156	19,439	—	19,439
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,283	4,156	19,439	—	19,439
セグメント利益	4,775	397	5,172	0	5,172

- (注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。
 2. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去額が含まれております。
 3. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国内と海外に分類しております。